

2013年12月1日発行

発行：名古屋市鶴舞中央図書館

Tel 052-741-9811

Fax 052-733-6337

<http://www.library.city.nagoya.jp/>

～読書でふくらむ子どもの夢～

## 高校生ビブリオバトル

現在各地で開催されている、ゲーム感覚の読書会「ビブリオバトル」。今回、「東区にある高校の対抗戦」という形で、高校生によるビブリオバトルが以下のように開催されます。オーディエンス（観戦者）を当日先着順で受付いたしますので、興味のある人はぜひお越しください！

日時 平成25年12月26日（木） 14時～15時30分

場所 名古屋市東図書館 集会室（カルポート東2階）

（地下鉄名城線・ナゴヤドーム前矢田駅徒歩5分）

出場高校 旭丘・工芸・東海・名古屋・明和（50音順）

観戦 20名（中学生以上）

（当日先着順にて受付・9時30分より3階で整理券配布）

ビブリオバトル公式サイト <http://www.bibliobattle.jp/>

（ビブリオバトルって何？ という方は見てみてくださいね）

### 【編集後記】

◎台風が名古屋に接近した夜、図書館を守るため一晩お泊まりをしました。真夜中にゴキ〇リと格闘したのが一生の思い出になりそうです。（千雪）◎大好きな季節の到来！！（秋）◎某フィギュアミュージアムに行ってきました。こぶし大のカナブンフィギュアに一目ぼれ！欲しかったな～（さと）◎高校生ビブリオバトル、興味のある方はぜひ！なんなら、自分たちでやってみるのもアリ？（sh）◎朝晩がかなり涼しくなってきたので、皆さん、風邪引かないように注意！！（む）◎おいしいものが出回る時期。中でも栗きんとんは名古屋みやげで一番喜ばれます（本当は中津川だけ。）（か）

# ゴキ〇リ



特集 ①「読書フェスティバル」潜入報告！  
②名古屋市図書館 ティーンズ担当者のオススメ

※この会場で「ほんシエルジュ大賞」が決定しました。投票結果は名古屋市図書館のホームページで公開しているので要チェック※

### 愛知県立松蔭高校 (和太鼓部)

演奏前のイメトレ & 大迫力の演舞がかっこよかった！

☆木村さんのオススメ

佐藤多佳子さんの本

特にオススメは

『サマータイム』新潮文庫

いろいろな人の視点から、

物語が書かれています！



### 愛知県立愛知商業高校

#### (希望のはちみつりんごアイス販売)

角切りりんごがごろごろ入って食べごたえバッチリ！

☆佐々木さんのオススメ『嵐が丘』

エミリー・ブロンテ著

(いろいろな出版者から

出版されています)

女子におすすめ！

大人になったとき、もう一度

読み返してみたいです！



### 名古屋市立向陽高校 (科学部)

スーパーサイエンスハイスクールの伝統を現在は科学部が引き継いでいるのだそう！

☆牟田口さんのオススメ

『浜村渚の計算ノート』

青柳碧人／著 講談社

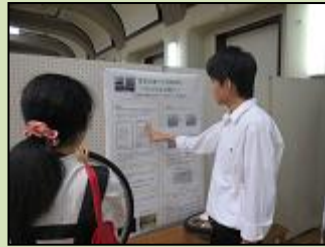
理系の人にはたまらない

内容の小説です！

☆岡本さんのオススメ

『乙女の日本史』堀江宏樹／著 東京書籍

歴史の本だけど理系の人でも楽しく読めます！



十一月四日(月・祝)に名古屋市公会堂で開催された「読書フェスティバル」。参加してくれた高校生の活躍ぶりを紹介＆「ちょっと」メンバーが高校生のオススメ本を聞いてきたよ♪



# 読書フェスティバル



### 名古屋市立向陽高校 (管弦楽部)

管弦楽器の音色にうっとり♪

☆澤村さんのオススメ

『きみはいい子』

中脇初枝／著 ポプラ社

久々に泣いた本です。



### 名古屋市立桜台高校 (文芸部)

力作が詰まった同人誌をいただきました★

☆國枝さんのオススメ

『密室の鍵貸します』

東川篤哉／著 光文社

東川さんの作品は長編が

おもしろいです！



### 国立名古屋大学教育学部附属高校

#### (スーパーサイエンスハイスクール)

粘菌のネットワークと交通網が似ているって知ってた？

☆林さんのオススメ『「ナルニア国物語」シリーズ』

C. S. ルイス／作 岩波書店

何度も読むと物語中の宗教や人間性が見えてきます！

☆吉井さんのオススメ『捕食者なき世界』

ウィリアム・ソウルゼンバーグ／著 文藝春秋

生態系の実態が物語風に書かれています。

☆九里さんのオススメ

『下町ロケット』

池井戸潤／著 小学館

ロケットを作るまでの過程

だけでなく、人間同士の駆け引きに引き込まれました！



まだまだ書きたいのだけれど、紙面が足りなくてゴメンナサイ m(\_ \_)m

撮影&インタビューにご協力いただいたみなさん、ありがとうございました！

※この記事に掲載されている6枚の写真の中に「ちょっと」メンバーが隠れているよ。どこにいるか探してみてね※

## 名古屋市図書館 ティーンズ担当者のオススメ

名古屋市図書館は全部で21館。その全ての図書館にティーンズ担当者がいるって知ってるかい？

ごちゃっとメンバーだけがティーンズ担当者ではないのだ！

30号から3回に分けて、各図書館のティーンズ担当者オススメの本を紹介。ぜひ、興味がある本は予約や取り寄せしてみてください☆

### 『つめたいよるに(新潮文庫)』

江国香織／著 新潮社 1996

10代の頃、「夏の100冊」とかで手に取った文庫。ほんわかした気持ちになる話、ぷっと吹き出すような話、ひんやり怖くなってしまふような話などもりだくさんの短編集です。それまで読んでいた本とは少し違う、大人の世界を垣間見たような気持ちになりました。あととにかく、出てくる食べ物がおいしそう！(南図書館・弓)



### 『隣のアボリジニ 小さな町に暮らす先住民』

上橋菜穂子／著 筑摩書房 2000

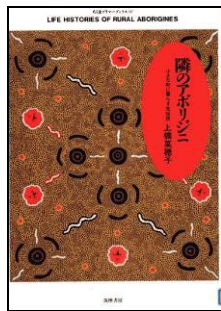
『守り人』シリーズで有名な上橋菜穂子さん

ですが、これは小説ではありません。

文化人類学者としての顔を持つ上橋さんが、オーストラリアの先住民、アボリジニと呼ばれる人々について書いた本です。アボリジニ

のことを知ろうと一緒に暮らしていくうちに、上橋さんは自分が持っていた思い込みや決め付けに気づいていくの

ですが、その過程も丁寧に記されています。アボリジニに限らず、他人を知り付き合っていくためにもお勧めの本。(瑞穂図書館・記憶)



### 『一生に一度は泊ってみたい奇想天外ホテル』

ディミトリス・コッタス／著 エクスナレッジ 2013

この本は飛行機を再利用したホテルに森や星空が丸見えの

ホテル、その部屋の雰囲気を楽しむホテルなど世界中から

集めた30のホテルが紹介されています。そこまで行く意味、

泊まる意味などを考えずに、自分だったらどのホテルを選ぶかと考えるだけでもワクワクしてきます。気持ちだけでも

現実逃避したい時におすすめてですよ。(緑図書館・Hi!)



### 『さよならを待つふたりのために』

ジョン・グリーン／作 岩波書店 2013

ヘイゼルとオーガスタスはガン患者のサポートグループで出会った。片足を失ってなおカッコ

よくたくましいオーガスタス。ありきたりな励ましを口にせず、辛口だけどユーモアセンスたっぷりの

言葉で死と向き合う知性的なヘイゼル。限りある時間のなかで恋に落ちたふたりの、

切なく、かけがえのない日々。(千種図書館・夏)



### 『シフト』 ジェニファー・ブラッドベリ／著 福音館書店 2012

18歳のクリスは親友と、高校卒業後の夏休みに、自転車でのアメリカ大陸横断をめざした。だが2ヶ月間続いた旅の終わりに、親友は自分を置き去りにして姿を消してしまう。その理由とは？

自分らしく生きるためには、時には逃げたり、人との関係を切ったりするのも必要なんだよ…といつまでも心に残る一冊。(守山図書館・和空)



### 『チューリップ・タッチ』

アン・ファイン／作

評論社 2004

ナタリーは恵まれた家庭で育つ普通の少女。一方チューリップは問題のある家庭で育ち、トラブルを起こしてばかりいます。

そんなチューリップにナタリーはひきつけられて離れられな

くなります。

ウソをついたり、友達や大人

をからかったり、

小屋に火を

つけたり…。

小学校高学年から中学生くらいの時は友達との関係が生活の中心であり、悩むことも多いのではないのでしょうか。そんな時期の心の動きがリアルに伝わってきます。

(山田図書館・Nori)

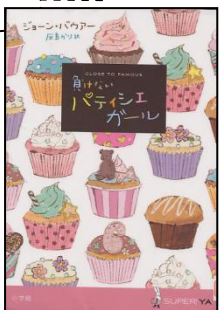


読めないような名前を子どもにつける親は鎌倉時代にもいた？バナナの皮ですべるといギャグを最初にやったのは誰？戦前は現代と比較にならないくらい超格差社会だった？今すぐ役立つということはまったくない、ちょっとひねった、コントのような読書ガイド。(sh)



『ザ・世のなかか』  
バオロ・マツァリーノ／著  
春秋社

『負けないパティシエガール』  
ジョン・パウアー／著  
小学館



フォスターはケーキ作りが大得意で、いつかテレビで自分の料理番組を持つことが夢。けれど現実はお菓子のように甘くはない。ママの彼氏は嫌なヤツだし、フォスター自身にだって、文字が読めないという弱点もある。でも、大好きなものがある人は強いのだ！（さと）

今夏の猛暑で、「ぐっすり」眠ることの難しさや大切さについて考えた人もいるかな？大人の本？と侮ること無かれ！ティーンズも、好きな人や家族のこと、勉強や学校のことを考えて眠れない夜もあるのでは。どれから読んでもいいレシピ式！この本片手に家族で睡眠について語り合うのもアリ？（秋）



『ぐっすり』  
鍛治恵／著  
新潮社刊

『東海道新幹線各駅停車の旅』  
甲斐みのり／著  
ウェッジ



名古屋の大動脈、東海道新幹線。最近九州新幹線やリニア中央新幹線の話で影が薄くなりがちですが、沿線はこんなにも魅力的。東海道新幹線各駅の名所名物を紹介しています。旅ごころをくすぐられる、美しい写真と文章で、名古屋の新しい魅力を再発見できるかもしれません。(か)

『ぼくのゆうしゃ』  
(C) 葵せきな / Nino 富士見書房



兄が入院する病院へ向かう途中、交通事故に遭ったミカミオル(小4)。目を覚ますとそこは異世界で、毛玉のような生物(魔物らしい)から勇者だと告げられる。女神さまを起こすため、大魔導師(自称)と共に3「人」の旅が始まった。「最年少最強美少年勇者」ここに登場！(千雪)

『若者のための』  
若者のためのまちづくり  
鍛治恵／著  
旺文社



突然ですが、こんな町を想像してみてください。車が入ってこれない歩行者だけの広～い空間があります。気ままに歩いて買い物したり、好きなベンチに座っておしゃべりしたり…。実際にこういう町あるんです。車ではなく人を優先した考えでまちづくりをしたらこんな町になるそうです。う～ん。深い！！(む)

ワタシタチモ ショウカイシタイ！！

ごちゃっとメンバーによる！！

# 新刊案内

